

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	人形劇定期公演開催事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	教育委員会	課等名	文化会館		包含する細々目	1	10	5	7	13	6		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり												
施策	27 文化芸術の振興												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間	6	年度～	年度								
												関連計画 条例等	

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	飯田市民 但し、各公演によって、具体的な対象年齢(幼児、幅広い年齢層、大人など)が異なる。	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844	107000			
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度					
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	市民が文化芸術を楽しむ	活動に参加した市民の割合	18目標	1.8	最終目標	3	20
			18実績	1.8	19目標	2	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	人形劇を年間通して公演し、人形劇文化の振興を図る。人形劇場をはじめ、市内のあらゆる会場で10回程度の事業を開催。	入場率及び収益率の向上につながるよう実行委員会で内容検討し実施する。観劇者数の増加とファン層の拡大を図る。	公演回数	
		18年度の実績		
	人形劇場で月1回程度の人形劇自主事業の開催(年間10～12回)。竹田人形館での特別公演の開催(年間3回程度)。実行委員会で計画・運営を行う。	19年度計画		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,000	950
	事業費計(A)	1,000	950
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	1,000	950

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	年間を通して人形劇に触れることにより、当地域特有の人形劇文化への関心が高まり、その他の人形劇事業への参加者も増加する。	人形劇フェスタ参加者数	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	人形劇への関心が高まった市民の割合	現状値		19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
人形劇カーニバルの10回目が開催された1988年には人形劇場が建設された。これを契機に、夏の人形劇カーニバルだけでなく、「年間を通して人形劇を見たい。」「アマチュアばかりでなく、プロ劇団のよい作品を見たい。」という観客の声に応え、カーニバル以外の時期にも人形劇の公演が行なわれてはじめた。そして年間を通した定期開催事業として位置付けがされたのは、人形劇のまちづくり係が発足した平成6年度である。	H14年より、フェスタ参加証ワッペンに着用者に対して入場料を割り引く「キャッシュバック制度」を導入し、定着してきた。個々の人形劇のスタイルが多様化しているため、上演会場、企画、客層拡大に一層の工夫が求められる。	人形劇場の有効活用など、人形劇の定期公演を充実させることの要望は議会、フェスタ関係者から強い。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	企画段階での目的の明確化、細かなデータ収集、作品の厳選、客層の絞込み等を徹底して行う。 人形劇プラスの複合的な事業展開を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	